

キヤノン オート アップ

オート アップをキヤノンに取り付けると、キヤノンの普通の最短撮影距離よりも更に被写体に近接して普通の撮影と同様に、距離計連動による接写をすることができます。昆虫、花びらなどの小さい動植物、小美術品あるいは機械類の小部品、その他諸種の場合の近接撮影にきわめて便利です。

種類

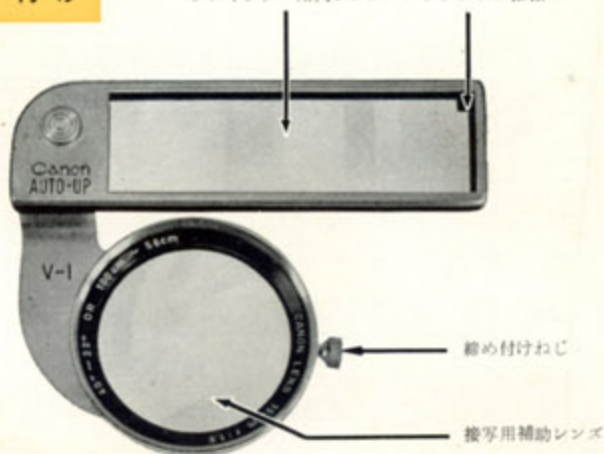
各レンズ用とも No. 1, No. 2 の 2 種類があり、適用距離に相違があります。

	50 mm レンズ用		35 mm レンズ用	
	No. 1	No. 2	No. 1	No. 2
撮影距離 フィルム面から 被写体まで	約 100cm ~ 55cm 約 40° ~ 22°	約 52cm × 39cm 約 22.5° × 15.5°	約 100cm ~ 55cm 約 40° ~ 22°	約 52cm ~ 39cm 約 22.5° ~ 15.5°
画 界	約 63cm × 42cm ~ 31cm × 21cm 約 25° × 16.5° ~ 12° × 8°	約 31cm × 21cm ~ 21cm × 14cm 約 12° × 8.5° ~ 8° × 5.5°	約 92cm ~ 61cm ~ 46cm × 31cm 約 36° × 24° ~ 18° × 12°	約 48cm × 32cm ~ 31cm × 21cm 約 19° × 12.5° ~ 12° × 8°

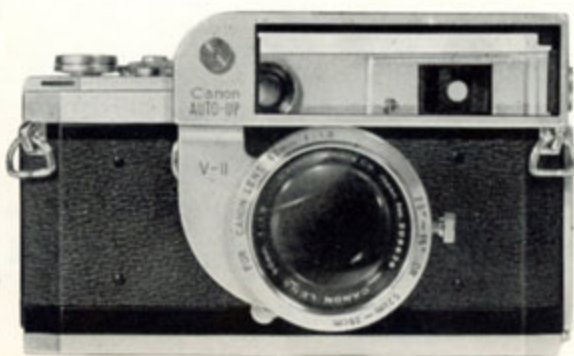
オート アップは主レンズの設計に合っていますから表示のレンズ以外に用いても十分に機能を発揮できません。

取り付け

ファインダー用角レンズ パララックス指標



補助レンズ枠をキヤノンレンズの頭部にかぶせ、角レンズ枠がカメラに正しく平行になるようにして締め付けねじを締め付けます。



レンチ・ビューファインダー

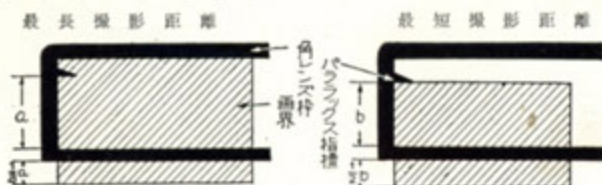
レンチ・ビューファインダーをのぞくと、角レンズを通して、普通の場合と同様に二重像が見えますから、これを合わせると完全にピント調節ができます。

ファインダーの視界

角レンズを通して見えるファインダーの視界は、一部が角レンズからはみ出して現われます。またパララックスのため、一部が実画界にはずれますから、右の図のようにこれらの部分を、目分量で補正する必要があります。

オート アップ撮影の場合には別にビューファインダーと オート アップ用パララックス コンペンセーターとを併用すると、画界全体を完全に知ることができます。従ってなるべくその御使用をお勧めします。

No. 1 オート アップ



No. 2 オート アップ



左右は上下の 1.5 倍になります。中間の距離ではその割合に応じて補正を行います。

オート アップ用 パララックス コンペンセーター III の使用



A パララックス連動ファインダー（ルミフィールドファインダー、広角ズームファインダーなど）と併用する場合

- 1 カメラのアクセサリクリップにパララックスコンペンセーターを差し込み、その上にパララックス連動ファインダーを差し込みます。ズームファインダーの場合はレンズ目盛を使用レンズに合わせておきます。
- 2 パララックス コンペンセーター III の切り換えレバーをオート アップ No. 1 または No. 2 に応じて I または II の目盛に合わせておきます。
- 3 距離計で距離合わせをした後、レンズの距離目盛を読んでコンペンセーターの矯正目盛をこれに合わせておきます。（この距離目盛は実際の被写体距離ではありません）。

B パララックス非連動式ファインダー（ユニバーサルビューファインダー、ユニバーサルズームファインダーなど）と併用する場合

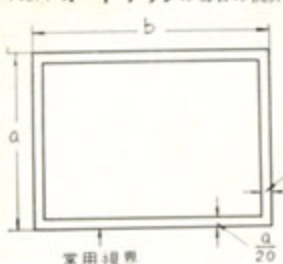
- 1 コンペンセーターにファインダーを差し込んだ後、No. 1 オートアップの場合はファインダー固有のパララックス矯正目盛を∞にし、No. 2 オートアップの場合は同目盛を 3.5 ft の目盛にしておきます。切り換えレバーはいずれの位置でもかまいません。レンズ目盛は使用レンズに合わせておきます。
- 2 距離計で距離合わせをした後、レンズの距離目盛を読んでコンペンセーターの矯正目盛をこれに合わせておきます。（この距離目盛は実際の被写体距離ではありません）。

パララックスコンペンセーター II はパララックス非連動のファインダーと共に B の場合と同様に用いられ、またパララックス連動ファインダーと共に No. 1 オート アップの場合のみ同様に用いられます。

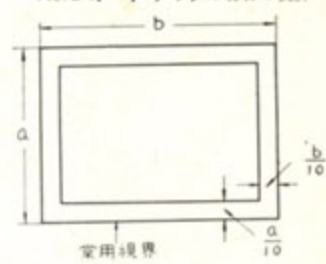
注意

オート アップに諸種のファインダーを併用した場合にファインダーの画界は、ファインダーの常用基準画界よりもやや狭くなりますから下図のように修正を要します。

No. 1 オート アップの場合の視界



No. 2 オート アップの場合の視界



絞り

オート アップ撮影では、撮影距離が近い被写界深度が非常に浅くなることに注意を要します。絞りは f: 5.6 以上絞るのが好結果です。

●パララックス コンペンセーターには、ほかにパララックスコンペンセーター I および II があります。パララックスコンペンセーター I はパララックス非連動ファインダーに併用され使用法は B の場合と同様です。